

2019年9月吉日

健保だより39

新電元工業健康保険組合
理事長 白羽 真

日頃より健保組合の取組みに対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

夏の暑さが和らぎ、朝夕はめっきり涼しく過ごし易くなりましたが、日中との寒暖差にて皆様、体調など崩されていませんか？

いよいよ来週から、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が始まりますが、日本代表チームは、初の8強入りを目指している様です。4年前のイングランド大会からメンバーは大幅に入れ替わったものの、今の選手達を見ていると、フィジカル面やメンタル面の向上は勿論ながら、以前に比べて、より“主体性”を持ってプレーしている様に見え、それが自信と強さの秘密なのかもしれません。

この“己の意思・判断によって、自らが責任をもって行動する”という考え方は仕事を進めていくうえでも非常に重要になることだと思いますので是非意識して欲しいですね。

また個人やチームの弱いところに注目するのではなく、自分達の強みを知って、それを新しい方法で積極的に活用した戦術を立てることも重要なポイントかもしれません。

前回大会では、強豪南アフリカを相手に「スポーツ史上最大の番狂わせ」と評される“大金星”をあげた日本代表チーム、今大会ではどんな戦いを見せてくれるのか、今から非常に楽しみです。

話しは変わりますが、近年、健康増進と生産性向上の両立に向けたキーワードとして注目されている「ワーク・エンゲージメント」という言葉を聞いたことがありますか？

これは、仕事に誇りややりがいを感じている『熱意』、仕事に熱心に取り組んでいる『没頭』仕事から活力を得てイキイキしている『活力』の3つの要因が揃っている状態のことを言います。

バーンアウト(燃え尽き)の対概念として位置付けられるもので、バーンアウト状態の従業員が疲弊しているのに対し、ワーク・エンゲージメントの高い従業員は、心身の健康が良好で、生産性も高いことが分かっています。また、ワーカホリック(仕事中毒)な従業員は、「仕事をしていないと落ち着かない」「仕方なく」など強迫的に働いているのに対し、ワーク・エンゲージメントの高い従業員は楽しみながら働いています。

この様に、ストレスを抱え、嫌々ながら決められた仕事しかしないという働き方ではなく、誰もが健康でイキイキと、互いに支え合いながらイノベティブ(革新的)な働き方が出来る環境を整えていくことで、組織的な成長に繋げていければ素晴らしいですね。

ラグビーの基本精神『One for All, All for One』チーム全員でボールをまわし、ボールを持っている仲間の為に相手選手に体当たりしボールを前に進める、そこには勇気、忠誠心スポーツマンシップ、規律そしてチームワークといった何かビジネスを上手く進めていくうえで、とても大切なことと相通じるものを感じずにはられません。

以上